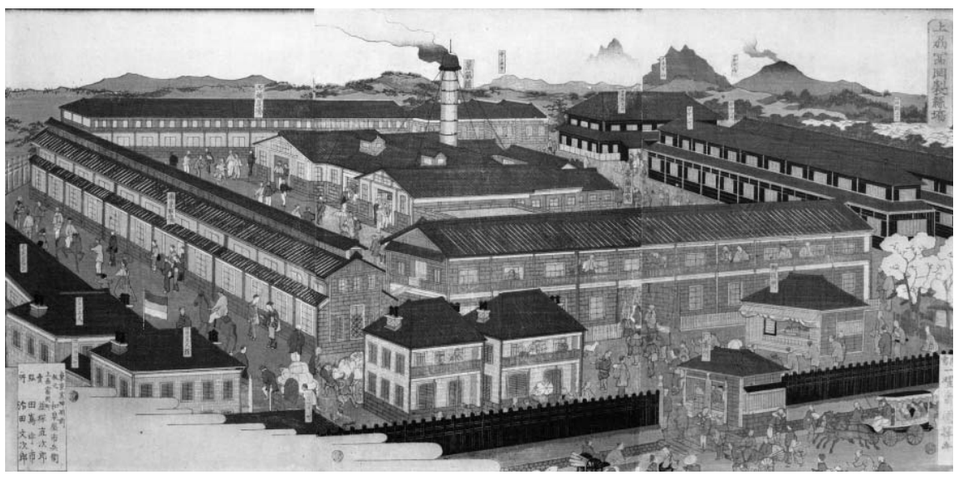
近代化DNAを受け継ぎ先進技術へ

群馬県産業界

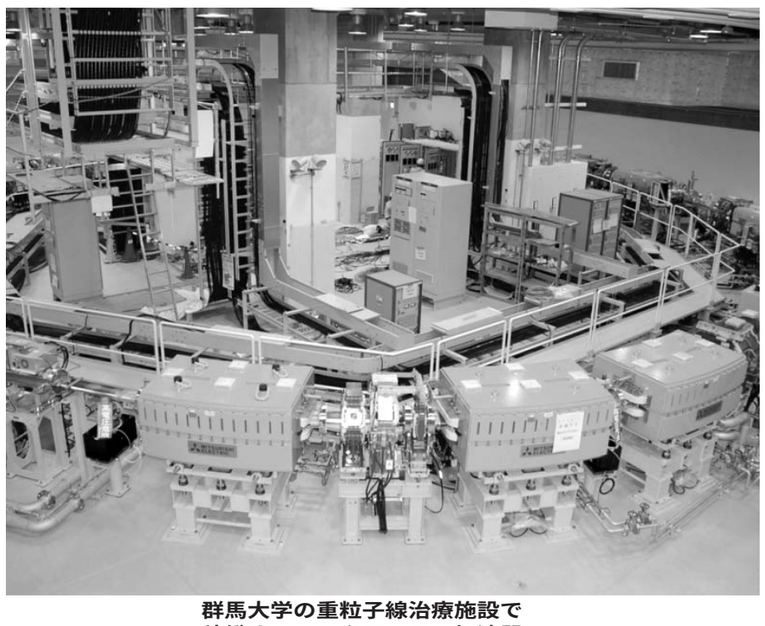
群馬県の産業界が国内を舞台に攻めの戦略を加速している。県は規制緩和などを通じて国際競争力を高めるため、「がん治療技術」を核にした国際戦略総合特区を政府に申請した。地元の中小製造業を巻き込み、産学官金（金融）が手を組んでオール群馬、オールジャパンで医療産業を集積。経済成長の突破口にする考えだ。県を支える自動車産業も低コスト体質への転換に動くほか、豊富な観光資源をテコに地域活性化する活動は各地で熱を帯びている。



群馬県などは旧官営富岡製糸場など４資産の世界文化遺産登録を目指す
（錦絵「上州富岡製糸場」）

がん治療の集積拠点へ

世界から投資呼び込む



群馬大学の重粒子線治療施設で稼働するシンクロトロン加速器

前橋市の群馬大学医学部付属病院。ここに日本とドイツ、中国の計5カ所にしかない先進のがん治療に使う重粒子線治療施設がある。光の約70％の超高速で重粒子線をがん部位に照射し、正常な部位へのダメージは少ない。治療期間は平均3週間。主流のエックス線治療の約半分と短いのも特徴だ。

群馬大の装置は三菱電機製。大きさやコストを先行施設の約3分の1に抑えた普及型と呼ばれ、中東やアジアでの稼働を予定している。特区構想では、同社が三菱重工業や同大などと協力し、次世代の治療システムを確立する。迅速な実用化につなげるため薬事法の緩和も呼びかける。

一方、治療に関わる人材育成は欠かせない。国内外から医師や技術者を日本に呼び込み、日本型施設で育てた人材を世界に送り出す狙いだ。国家資格の創設や外国人による臨床行為の規制緩和も同時に訴える。

11月に無料公開

13年1月下旬にも特区の採択可否が公表される。県は関係者で構成する「地域協議会」をすでに設立。自治体や大学、病院のほか、三菱電機や東芝、太陽誘電、サンデン、OKIなど大手企業が参加。それぞれの強みを生かす。医工連携で成長を目指そうと地元製造業のアドテックス（群馬県高崎市）も新規分野を模索する。

県内には、がん治療施設のほか放射能の研究機関である日本原子力研究開発機構の拠点や医学・医療系の大学などインフラが充実している。さらに富士重工業や電機大手のお膝元として、モノづくりに欠かせない切削や金型といった産業基盤が堅固だ。

県の産業政策課は「群馬で育てた日本の医療モデルを世界で普及し、群馬を医療産業の集積地にしたい」と意気込む。市民への認知度を高めるため11月3日に重粒子線施設を無料公開する。医師や放射線技師が治療室や加速器などの設備を紹介。医療相談にものる。県の医務課は「ふだんは治療に専念しており立ち入りは難しいが、認知度や理解を深めるきっかけになればいい」と話す。

日本の医療機器市場は世界2位と言われるが、輸入依存度が高い。少子高齢化を商機と捉え、医療分野で主導権を握るため群馬の潜在能力を発揮する。

車産業は体質強化

高操業は改善の力

群馬県で好調な操業を続ける富士重工業。12年4－9月期の連結当期利益は前年同期比22％増の400億円となり、前回予想から170億円増加。新型の主力小型車「インプレッサ」や「レガシィ」の上級車種が売れ行き好調で利益を押し上げている。

高操業を支えるのは工場の地道な改善と部品会社の力だ。群馬製作所本工場（太田市）で13年夏にも年産能力を3万台増やして18万台に引き上げる。大規模な投資を避け、工程ごとに最小限のロボット導入などで賄って好調な受注に応える。

4年前にスタートした「取引先コラボチーム」では着実に成果が生まれている。富士重の社員と取引先が手を組み、生産や設計、開発面のムダを洗い出して改良する。プロジェクトに参加するプレス部品会社も「双方にメリットが生まれる」と歓迎する。

円高による海外部材の調達拡大や生産の海外シフトなど中小製造業を取り巻く環境は厳しい。それでも成長への活動は止めない。ホンダ系でオイルポンプ製造の山田製作所（伊勢崎市）も生産コストの半減に乗り出した。「世界最廉価プロジェクト」と題して工場の工程見直しを進める。北元徹社長は「国内で商品を作り続けるために欠かせない。電子制御の領域強化も当社の命題だ」と将来を見すえる。

年産能力を増強する富士重工業群馬製作所

食品産業、内需取り込む

相模屋食料は「機動戦士ガンダム」シリーズを商品化（展示会）

国内需要を取り込む成長企業は多い。「機動戦士ガンダム」シリーズのザクとうふやズゴックとうふが人気を集める相模屋食料（前橋市）もその一つ。注目度が先行した形だが、味や品質にこだわり、いち早く工場の自動化に取り組んで成長を続ける老舗メーカーだ。

木綿と絹という基本を徹底追求し、10年2月期に同業で初めて売上高100億円を超えた。鳥越淳司社長は「常識は自ら作ることができる。伝統は革新の連続だ」と強調。「目標とは夢。天が見えないほどでっかい夢を持つ」と市場に無い概念を生み出す覚悟だ。

食品をつくる機械分野にもキラリと光る企業がある。真柄鉄工所（前橋市）は、漬物用の野菜を切り刻む切断機を販売している。福神漬け用の材料を切断する装置を採用した会社は地元以外に各地に拡大。新商品は刃を装着する本体部にステンレスを使用した。従来の鋳物部品に比べてサビにくく、値段は他社製のオールステンレス品の半値ほどという。

「愛用者は家族経営の漬物屋さんも多い。顧客の細かな要望に応えていくのが当社の仕事」と真柄智社長の言葉に力が入る。

Gas Injection
http://www.jun-corporation.com
株式会社 ジュンコーポレイション
〒379-0211 群馬県安中市松井田町上増田53-1
TEL 027-393-1375　FAX 027-393-4331

“金型から鋳造完成品まで”
亜鉛合金ダイカスト合格標章
素形材環境優良工場・全国表彰受賞　技術と信頼を創る 群馬県中小企業モデル工場
ISO 9001:2000 ISO 14001 取得
AKIBA 株式会社 秋葉ダイカスト工業所
本社 〒370-0072 高崎市大八木町580
☎027(361)4499(代表) FAX027(361)9904
元気なモノ作り中小企業300社 2007年 選定企業

MITSUBA
1台のクルマの中に、いったいどれだけのミツバのテクノロジーが搭載されているのか知っていますか?…エンジンの始動から目的地に無事に到着するまで、ミツバの製品は、クルマのさまざまな部分で、安全で快適なドライブのお手伝いをしています。
ルーフモータ　ドアミラー　ファンモータ　パワーウインドモータ　ワイパシステム　リアワイパ　EPSモータ　ホーン　スタータ　ETCモータ　シートモータ　ウィンドウォッシャ　パワースライドドアシステム　インタンク式フューエルポンプ
1台のクルマ、そこにはたくさんのミツバの技術が生きています。
きっと、あなたのクルマにも ――
株式会社 ミツバ
本社／群馬県桐生市広沢町1-2681 〒376-8555
TEL.(0277)52-0111(代) http://www.mitsuba.co.jp

リサイクル品・ダイカスト品・鍛造品搬送コンベヤー
Lスラット STE80
<スチール製>
スラット板の隙間が殆どないので噛み込み無し!!
● 特長
・リサイクルプラントの粉砕機、圧縮プレス機等への投入やダイカスト製品・湯口の搬送及び熱間・冷間鍛造品の搬送に適したコンベヤです。
・従来のスラット板の欠点であるスキ間を極力狭くしてバリや薄板スクラップカスなどの挟み込みを解消した新タイプです。
・ニーズに合わせて仕様変更が可能な為、重量物や熱・水分・油といった過酷な環境に強い!
～ コンベヤ総合メーカー ～
サンエイ株式会社
URL http://www.sanei-cv.co.jp
E-mail address：sales@sanei-cv.co.jp
粕川事務所 ● 〒371-0215 群馬県前橋市粕川町深津1873 TEL 027-285-3600(代) FAX 027-285-3695
名古屋営業所 ● 〒472-0004 愛知県知立市南陽1-38-D-5 TEL 0566-82-6150(代) FAX 0566-82-5742

油温自動調整機
OILMATIC
工作機械の高精度化、高速化、高能率化を推進する上で油温制御が重要なきめ手となります。豊富なシリーズから最も適した機種をご選定下さい。
時代は高速、高精度
■KTCシリーズ　潤滑油、作動油用　冷却能力：1000～14000kcal/H
■KTVシリーズ　潤滑油、作動油、切、研削油、水用　冷却能力：1000～7500kcal/H
■高精度油温制御装置　±0.1～±0.05℃
KANTO SEIKI
関東精機株式会社
本社・営業／〒371-0854・群馬県前橋市大渡町2－1－10 TEL:027(251)2121(代) FAX:027(251)0924
江田工場／〒371-0836・群馬県前橋市江田町456 TEL:027(254)4544(代) FAX:027(252)1519
URL：http://www.kantoseiki.co.jp/